

2011.07.28

ご支援をいただいたみなさま

お父さんたちのネットワーク世話人  
石垣政裕

## 支援物資のご報告No.13

- 石巻の自転車その1 -

### 自転車

私たちは、学校に通うにも不便な高校生やこれから仮設住宅の足として自転車を支援できないだろうかと思案を巡らせておりました。石巻の高校からは約200台の要請がありました。

インターネットで全国の親父たちにも要請しました。放置自転車の件など、いくつかの情報もいただきましたが、数が数だけに長い戦いになるなあと感じていました。

さて、そうこうしているうちに、なんと福岡の片江小おやじの会から自転車を送るという話が来ました(後日、実際に贈られてきたときには感動しました)。これは、私たちも本腰を入れてかからないといけないと思い、自転車関係の知り合いの方に、何かいい方法はないだろうかとお聞きしました。すると、自転車の支援は大変にいいことなのだが、受け入れ先任せにしないこと、しっかり大量に自転車をもたらすことにより地域の商業を圧迫することになりかねないので慎重に行う必要がある旨を教えてくださいました。「地域に寄り添う」オヤジの会の私たちにとっては貴重なお話しでした。

自転車を支援をしてくださるというNPO法人「難民を助ける会」に千葉さんからその旨をお話しいただくと地域の自転車屋さんから購入して支援をして下さるというお話しをいただきました。ほんとうに感謝しております。

以下第1回の自転車支援の、うれしそうな千葉さんの報告です。

---

### 石巻女子校自転車報告

2011-07-28



自転車100台の支援【石巻市立女子高等学校】

自転車100台を石巻市立女子高等学校へ支援して参りました。

このプロジェクトは地域産業の復興(自転車屋さんから買い上げをお願いしました。)と、学生たちの通学の足である自転車支援の両方を行う事ができ

ます。

国連公認の国際NPO法人「難民を助ける会」の支援の下、稲井オヤジの会が市女高へ自転車100台を届けてまいりました。

8月は更に市内の市立稲井中学校や宮城県立石巻高等学校・好文館高等学校・北高等学校へ、それぞれ届ける予定です。更に新車100台を届ける予定です。



さて、私が市女高へ到着したのは8:30分頃でしょうか、まだ学生達がガヤガヤと賑やかに登校してきます。少し？早めの到着で、中村サイクルセンターの主人を待っていましたが、なかなか来ない。実はここ市女高は東西に駐車場があり、私は西側、中村さんは東側へ居たのです(笑)

東側へ集合ということになり、作戦会議を行なって9時過ぎ頃でしょうか、仙台ブリヂストンサイクルから100台の自転車が到着しました。いやはや圧観し、嬉しさのあまり「ため息」がこぼれます。



100台を降ろすのに大人11人掛かり、けっこうあるんです。



高等学校の生徒らに自転車の支援ができました。

その量が凄いこと凄いこと！

組み上げは国家資格を持った整備士の精鋭4名が行います。終了予定はおおよそ15時過ぎだとか…。

ところが、13時前に学校へ戻ってくると「驚きます」100台全て乗車できる状態に！凄すぎます！「素晴らしい！」の一言につきます。

13時15分には石巻市立女子